

委員長 皆さん、長時間にわたりまして御苦労さまでございました。御協力ありがとうございます。予定した時間より早めに終わることができました。これよりは私の口述は口述書がございません。アドリブで言わせていただきますので、発言の内容に不明確な、また不行き届きの点が多々あるかと思いますが、その点につきましては私も14年間やってきた議会生活の中で、今回ほど多分重要案件、質疑がなされたことがなかろうかと思っております。不行き届きの点があった場合には御容赦をいただきたいと思っております。

まずですね、本来ならばここで質疑が終わりましたので、採決をとるところではございますが、今回、先ほども申し上げましたとおり、非常にいろいろな意味で将来を見据えた重要な議案、予算議案が出されています。そのことに対していろいろな活発な意見もなされたことでございます。採決に入る前に、冒頭皆さんの中から残された時間を議員間討議というふうなお話もございましたので、そのような形にさせていただきたいなど。報告書を作成する前ということでございますが。その進め方についてだけ…進め方は後ほどでいいですね。議員間討議という形にもっていきたいと思っておりますが、その点についてだけ、御異議ございませんか。

（「異議なし」の声多数）

なしと認めます。それでは、ここで暫時休憩をさせていただきます。2時まで。再開は2時といたしますので、御意見のあられる方はその間に十二分に頭の中を精査しておいていただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

（13時46分）

委員長 それでは、休憩を解いて再開をいたしたいと思っております。 （13時59分）

これよりは先ほど申し上げましたとおり、おのおのの議員間討議の時間帯といたしたいと思っておりますが。進行方法についてお尋ねをいたします。どのような進行にしたらよろしいでしょうか。御意見がありましたらお願いをいたしたいと思っております。

井上委員 進行方法ということですので、令和3年度予算の今、質疑が終わりましたので、それに対して意見がある方が挙手にて意見を出していただき、それに対して賛成意見、反対意見がある方がですね、それぞれの意見を述べていただくと

いうことで、順次挙手をした順番で審議、議員間討議を進めていけばいいのではないかなというふうに考えます。

委員長 ありがとうございます。ただいま6番議員より、お聞きのとりの発言が、御意見がございました。それでは、まずこの議案に対してはどうなんだろうというような御意見をお持ちの方、挙手をした上で御発言をお願いいたしたいと思います。どうぞ。

井上委員 まず、2点あるんですけどもね、まず1点目から。やはり一番、この令和3年度予算に計上された事業の中では、やはり事業費として一番大きいですね、新松田駅前の整備事業に係る事業費がですね、冒頭ですね、5番議員のほうも言われましたけれども、やはり松田町の今後の財政負担を考える上で、また通常ですね、一般行政経費における一般財源をある程度充足をしていかないといけない。また、副委員長も言われましたように、松田町の公共施設整備事業もですね、当然維持修繕、建物の更新、その中には今後の一大事業としても見込まれています松田中学校の建て替え工事等を含めた中では、この北口整備事業はですね、一時、令和3年度からスタートの事業費と債務負担行為ということで載っていますけれども、そこについてはですね、修正をすべきではないかと。予算についての修正をすべきではないかなという意見であります。

その理由といたしましては、この北口整備事業、総額では49億円、債務負担行為では1億2,500万円です。広場自体、広場整備事業自体について、まずは先ほどの質疑の中でも私が担当からですね、担当に質疑しましたけれども、南口整備事業を先行してですね、その結果を見て、踏まえてですね、北口整備についてどうするかということを考えていくというふうにも思います。

今、まちづくり参事のほうからの説明がありましたけれども、そのためにはですね、議会独自としてですね、議会の特別委員会の中で調査研究を行ってですね、議会独自の考え方としてですね、新松田駅北口とか周辺整備事業をどうするかというような特別委員会の中で答えを出すまでの間ですね、予算としては取りあえず第3表の債務負担行為の北口整備事業費1億2,500万円は削っていただいて、事業費としてはですね、先ほど警察協議とかですね、都市計画決定の手続等もあるということもありますので、事業費の1,000万円につきまし

ではそのまま、債務負担行為についてですね、削るという予算の修正をしたらどうかというふうに考えますので、賛成意見、反対意見のある方はよろしくをお願いをしたいと思います。

委員長 6番議員のほうから、ただいまの新松田駅前の事業費が大変な膨大なものになるということで、御存じのとおり松田小学校、また今後行われるかもしれない松田中学校等の事業もあり、この事業については一旦は債務負担行為の1億2,500万ですね、この部分を削るというこの修正の意見が出ました。このことに対して御意見のあられる方。（「先に議事進行」の声あり）

田代委員 一つ一つテーマを絞って、一つ一つ議員間討議をしていくと。仮に今の関係について、田代が発言した場合に、また別の、例えばジビエとか木質とかいろいろ出ると思います。そのときもまた発言してよろしいわけですか。

委員長 はい、当然です。

田代委員 分かりました。では。

委員長 はい、どうぞ。

田代委員 ただいまの6番 井上議員に賛成する立場で私の考えを申し上げます。私も、この新松田駅北口駅前広場詳細設計業務委託料、これについて予算書の7ページ、開けてください。7ページの第3表、債務負担行為。その下から2段目、1億2,500万を令和3年度から5年度に使うよと。この予算については、修正議決ということで、全額外すべきだと思います。

その理由については、先ほど私がお願いして、午後の一番に配られた資料。神奈川県西地域、この資料を見ていただきたいと思います。松田町は財政力が本当に厳しいです。それを一目瞭然で示しているのが、この資料でございます。まず初めに財政力指数、2市8町、10あります。その10分の8です。8位です。後ろから3番です。次に、実質公債費比率。これについては、またこれから後で話しますが、この時点では5.9%で、6位です。真ん中です。次が財政調整基金。これについては、やっぱり下から2位だよ。ビリ2ですね。これで少し積んで7億になっていると言いますが、ほかのところは少しずつ少しずつ地味に積んできた額です。3億8,000万ぐらい増えるんですけども、この半分は土地を売った金です。もう計画的に積んだ額ではございませ

ん。そういったことで、非常に松田町というのは、この一覧表で見るとおり、財政厳しい町です。

その中で、今回もう一つの資料、財政推計の資料です。それを見ていただくと分かると思いますが、今現在、これからいろいろ出てくるであろう行政需要、これが全て入ってません。分からない、不明の中で、この指標を作っています。今現在は実質公債比率、元年度ベースで5.3%で、低いようですけども、これから松田町の小学校、この建設が終わって実質的な償還が始まる時期です。これを私は令和7年で見えています。令和7年を御覧いただくと、10.7%です。10.7ですよ、よろしいですか。

次に、新松田駅、この償還が本当に始まるとするのが、令和9年です。11.4%です。ここが入り口です。これからこの公債比率は下がらないです。どうということかということ、先ほど副委員長の南雲議員も指摘された公共施設管理計画、今まである町内の施設をどういうふうに管理して補修していくのかというものが、これに加わってません。それと、あと広域行政で、冒頭朝も申し上げましたけれども、これから足柄上地区の資源循環型ごみ焼却施設の建設事業が始まります。小田原市消防、松田地区でも分署を建てます。山北にも分署を建て替えます。そういった建設事業の負担金が入ってきます。そうなった場合に、財政力はもう、ますます厳しくなるのかなど。一応この表では13%ぐらいで収まっていますけれども、これで収まるの。私はもっと多くなると思います。15%…起債制限は十七、八%なんですけど、15という数字は皆さんどういうふうに考えられるか。実質公債比率が15になったときの松田町の姿を想像すると、ぞっとします。本当に子や孫に、私はこの件に関して胸を張って言えない。子供に借金を作るだけのものになってしまう。そういったことで、この内容についてはカットして、ある程度落ち着くまでは進めるべきではないと思います。

ということで、新松田駅についてはそういうことで、私の見解を申し上げました。終わります。

委員長 2人の委員から同じような御意見が出ました。新松田駅前の事業、特にこの債務負担行為1億2,000万円は削ると。その理由については、今お2人がおっ

しゃられたとおりでございます。今後行われるであろう事業、公共的な補修も  
ございますし、また広域的な事業費もございます。そういったことを含めると、  
今後の公債比率のますます10年後の13%を超えて、ますますアップしていくん  
じやなかろうかの恐れがありますというような趣旨だったかと思いますが。こ  
のことに對して、また御意見があられる方。

大 館 委 員 員 　いいですか。私も全くそのとおりでございます。それは内的な要因、今、田  
代議員が言われた内的な要因ですけども、外的な要因として、今、全世界がコ  
ロナ禍で、もうどんどん景気も下がってくる。昨日配られた宗教新聞の中で、  
昨日配られたよね。あの中でね、アメリカの国債が下落すると、そうすると全  
世界にそれが波及して行って、第二のリーマンショックになったら世界恐慌が  
起きるといような記事がありましたけれども、全くそのとおりでございんです。  
松田町の人口もしかり、どんどん減るばかりじゃないですか。何か人口  
増加策やります、やりますって唱えているだけで、実際空き家対策等も職員が  
じかに働きかけはしていません。そんなことを考えるとですね、松田町の人口  
も当然減りますから、所得税減ります。そのうちに固定資産税も評価替えて評  
価が下がれば減るわけですから。上がる要因が何にもない中でね、大型事業だ  
けをどんどん進めていったら、本当に子や孫に借金を残すだけで終わりになっ  
ちゃうんで、ここで我々がきちっとした決断を出してですね、止めるものは止  
めていかないと、全部議会在が決めたからじゃないかっていう話になっちゃうと  
思うんで、その辺は皆さんで考えていただきたいと思います。以上。

委 員 長 　大館議員も、ほぼ同意見でございます。

寺 嶋 委 員 員 　私もですね、北口駅前広場詳細設計業務委託ということでは、これですね、  
やっぱり削るといような方向でね、賛同いたします。主に私はですね、財政  
的なもの、今、前者の方もね、言いましたけれども。松田町の場合ですね、主  
に自由に使えるお金といいますと、町税がこれ、15億円を切っちゃったんです  
よね。15億、町税。それから地方交付税、これも前、9億、臨時財政対策債も  
入れると9億以上あったんだけど、どんどん8億ぐらい、少なくなってくる。  
あと、事業をやるということであれば、もうね、起債、借金しかないです  
よね。ほとんどね。ですから、今の財政規模でいったらね、この駅前の大型開

発事業、あまりにも財政負担がね、やっぱり大きすぎると思うんですよ。あとはね、やっぱり詳しいことは言いませんけども。そういうことで、本当にね、将来的に私たちの税金を納めたわけですけども、借金も。起債、借金の返済も減る、大きく返さなきゃいけないということであればですね、さらに町の財政負担が大きくなるし、将来的にはね、住民サービスまで響くような、そういう影響が考えられますので、私はそういうことで業務委託料はカットというふうに賛同いたします。以上です。

委員長 はい、分かりました。寺嶋議員も同じような御意見でございます。削るということでございます。

平野委員 債務負担じゃなくて業務委託。

委員長 債務負担ですよ。1億2,500万ですね。

寺嶋委員 債務負担行為の中の業務委託。1億2,500万円。

平野委員 分かりました。

委員長 1億2,500万ですね。分かりました。

田代委員 下から2番目にあるね。

委員長 そのとおりですね。ほかに。

平野委員 皆さんのおっしゃることは一つ一つ、あ、ごもっともかなというふうなところもありますが、やはり私はここはしっかりと厳しい条件、例えば決議書でもいいです。そういうものをつけながら、ここは認めていけばいいのかなというふうに思っております。

というのは、やはり一般質問じゃなくて、全体質問でも言ったとおり、松田は2.2%の町税減収というふうなことで、2.2%、コロナだけじゃないですよ。毎年少しずつ減っている分もあるから、コロナで純粋に減った分がどのくらいあるのかはちょっと分からないんですが、でも、松田の場合はコロナのすごい大きな傷は受けなかった。だけれども、復活するところも、まあそれほど余地がない。このままではないというふうなことが見えている。その中で、やらなきゃいけない事業として、皆さんが前に認めてくださった松田町の総合計画第6次ですよ。あそこでも駅周辺整備、しっかりと書いてありました。そこをどうやって少しでも前に進めるんだろうというふうなところで考えるべきかな

というふうに感じます。固定資産が下がってしまうよというふうにどなたかおっしゃったんですが、やはりそのためにも、町をしっかりとビルドアップしていかなきゃいけないんじゃないかなというようなどこがあります。このまま何もしなければ、多分じり貧。いつの間にか上郡の中心は開成町に移ってしまうというような、ちょっとあまり明るい材料がなくなってしまうというのがあります。

財政負担が大きくなる。15%も、もしかしたらというふうに通田議員もおっしゃっていました。そのところは本当に頭が痛いところではありますが、予算を組んでいられた職員のほうも、多分、出を一生懸命抑えるんだと。何かそういうような工夫をして、これだけ組んできたとおっしゃったと思うんです。実際に9月に実質公債費比率をね、財政推計表でお見せしていただいたときには、たしか6.1%となっていたのが、今、見込みでどうなるかということで、通田議員が質問したところ、今、5.9%というふうにおっしゃっていて、ほんの少しだけでも、よいほうに振れたというようなどころもあるので、これから見えてないところ、ごみ処理場とかね、さっきおっしゃった、その辺がどういうふうになってくるのかが、ちょっと見えない。だけれども、そういうところも含めて、条件をきっちりつけて、副町長もおっしゃっていたとおり、あと高橋参事もおっしゃっていたとおり、いろいろな交渉相手が出て、交渉相手のほうの都合も、やっぱり変わってきていると、なかなか厳しい部分が小田急さんにも出てきたと。だから、このスケジュール表も、このまま行くとはい限らないかもしれないというのはおっしゃってました。もしかしたらずれ込むというようなこともおっしゃってました。そういう意味では、条件をつけ、本当にちゃんと附帯意見とかそういうつけ方じゃなくて、ちゃんと決議書でつけて、それで通すというのでいいのかなと私は思います。

委員長 平野議員から、ただいまお聞きのとおりでございます。何もやらなければ、このまま松田町はじり貧になっていってしまう。厳しい、附帯条件ではなく、決議書のような厳しい条件をつけた上で認めるべきだという御意見でございます。ほかにございませんか。

井上委員 今回の意見に対してでもいいですか。

委員長 結構です。議員間討議ですからね。

唐澤委員 私も今の平野議員と同じといたしますか、そちらに賛成します。そうですね、駅のこと今までも、ここ何年もずっと続けてきて、ここにきて続けていくか、やめていくかというような、重要なターニングポイントだと思うんですけども、結構職員の人たちが今、住宅をまたいろいろ建てるだったりとか、やっぱり人口を増やそうとされている中で、じゃあ、移住してきたときに、やはり住みにくかったりとか、安全じゃなかったりとかというライフスタイルだと、結局また町から出て行ってしまうということになると思うんですね。私は、ほかのいろんな事業を、逆にもっと見直すべきだと考えていて、この大型の事業に関しては、さらに本腰を逆に入れて、覚悟を全体的に固めてやっていくという方向に持っていったほうが、後々の助成金のことだったりとか、駅に対するのも関わっているんで、ここは止めるべきではないのかなと、ちょっと苦渋の判断もありますが、考えています。以上です。

委員長 唐澤議員に対しましては賛成ということでございます。もろもろの今後の松田町に越されてこられるような方たちの住みにくかったり安全面等を考慮したときには、さらに本腰を逆に入れて行ったほうがいいという御意見ですね。

井上委員 先ほど平野議員が言われました、この予算修正じゃなく決議文でというふうなところですけども、前々からですね、議会のほうの意見に対しましては、申し入れ事項というのをですね、今までも何回も繰り返してきましたけれども、それは例えば予算措置にしては、この例えば予算をですね、カットとか否決をしてしまうと、町民サービスに滞りができてしまうと。そういうようなことをですね、議会としては配慮した中でやってきたわけです。でも、そうするとですね、ほとんどその附帯事項、申し入れ項目というのは、今まで遵守されたことがなかったということで、かつそういう町民サービスとかですね、また今回はコロナワクチンの接種に係る経費等もこの予算の中に入っていて、それは本当に、本当の意味でのですね、町民の命を守る政策になっている。そういったものに影響がないようにし、かつ議会の意思をですね、明らかにするためには、やはり予算案の修正ということが私としては必要だというふうに思います。公債比率のことも言われていましたけれども、それはこの3月の当初予算

の時期に出す公債費、町の財政推計というのは、一番町がですね、最終的に赤字団体にならないように、それをですね、判断するための基準であるわけで、それをですね、今時点で事業費がまだ集計できていない。全然それについては見込めない。だから公債費の推計から外したというような説明というのは、やはりそれはあくまでも便宜上の財政推計であるというふうに議会としては判断をすべきだと思います。ここで示されている以上の財政需要が、先ほど私の一般質問の中でも幾つもあります。それらをですね、踏まえた中で、やはり財政推計を出して、3月の議会に臨むというのが執行者側の姿勢であると思いますし、財政担当課の使命であるというふうに考えていまして、それをですね、出していない。財政推計には加えていないという答弁自体は、もうあきれ果てる答弁ではないかなというふうに私は思いますので、先ほどの公債費が多少よくなってるのかというふうなね、その部分は起こしているという。将来的に出てきて、じゃあ、もう十何%、例えば20%というのは、町の一般会計の予算額だと、大体40億前後が通常時であればね。そうすると、そのうちのもう20%ぐらい、8億は公債費、元利償還金で出てしまうということになってしまうわけですね。それらを考えると、やはり一般行政サービス、住民に対するですね、行政サービスは、本当に低下をするというふうに考えますし、さらに民間活力を上げていくためには、昨日視察して見たような、町屋のように私有地を、農地を活用する施策、民間活力を採用する施策、そういったものにですね、重点を当てるべきであって、あくまで行政がみずから利益を得る、そういう方向に進むための行政施策ではないというふうに私は考えます。以上です。

田 代 委 員　私も平野議員、唐澤議員のお考えに異議を申し上げます。私自身は、総論としてはこの新松田駅前事業、賛成です。ただ、誰でもそうですけど、お金があつて初めてできる。いや、俺、家建てたいな、豪華な家建てたいな。何にも金がなくて、建てるんだ、建てるんだといったら、全部それ、ローンで持っていけますよ。生活できなくなる。そういった中で、私は慎重にやるべきだと。町民の誰もが新松田駅前の混雑緩和、これはアンケートで分かりますよ。本当に必要だと思います。ただ、どうして今ここでやるのということなんです。町長は今回、町の将来のために投資するんだというお話をされました。でも、町

長の公約は、12年ですよ。あとこの9月が終わって3選入ったら、残りの4年ですよ。計画だけ立てて、食い散らかして、あとは残りの人がやる。それはちょっと違うんじゃないのかなって感じします。

あともう一つね、公共施設の管理計画、これについては町内の町の施設がこれからどれだけ改修してお金をかけていくか、これについて今日、総務参事は、これから個別計画を示すと、取りかかると。そうすると、じゃあ松田中学校どうするんだ、松田町立幼稚園どうするんだ。その金額が補修額が出ると思います。それと小田原消防、松田、山北、分署、場所を移して建てます。山北は現状かな。隣かな。そういった広域の費用。それと、先ほどもお話ししましたけれども、足柄上地区のごみ処理施設、これは資源循環型ですから、相当の額です。小田原はこれには入らないと思うので、南足柄ほか上郡5町が中心になる関係で、多分建設負担金、維持管理費、すごい莫大な数字になると。この計画、もう皆さん目を通されたと思うけども、いつごろこれが示されるか。私はこの計画の中で、はっきりした事業費が示される。それで、小田原消防もそうです。はっきりした金分かる。それで松田町の町内の公共施設の管理計画、これ、個別計画これから着手しますよ。それを全部持ち寄って幾ら。それで公債費比率が幾らになるのか。先ほど平野委員は、今聞いたら、まだ5.9%とか、大した額じゃないから、何にもしなければじり貧だからやるべきだという話なんですけれども、私は違うと思う。もうこの時点の表で13%という、実質公債比率が出てるんですよ。それにこれからの懸案事項を加えたものを見る。それで進めるかどうか判断すべきです。私はまだ時期が早い。今はこれは認めるべきではないと思います。以上です。

委 員 長 田代議員に…時期尚早と。

田 代 委 員 はい、そういうことです。

唐 澤 委 員 では、時期が早い。じゃあ、妥当な時期はいつごろかなというふうにはお考えでしょうか。

井 上 委 員 最初に私が言いましたように、ですので、ここの3月定例会でもいいんですけども、やはり議員もですね、研究…勉強をする特別委員会を全員でですね、つくりまして、やはりそこで、じゃあどういうふうには新松田駅前の南口及び北

口の開発事業を考えていくのかというようなことをやるべきだというふうに考えています。取りあえず議員のほうのほうですね、いろんな役職の任期というのは、9月までの…あと、4月からですから半年ぐらいですね。ありますので、そこでね、10月のところの時点で、今度また新しいそれぞれの役職に変わりますから、そうすると、6か月間の中で十分勉強をしてですね、それに対しての委員会の報告が出れば、定例会の中で報告をして、それを執行者側に議会のほうのほうですね、新松田駅周辺整備事業に対する委員会報告という形で投げていくというふうに考えますので、最初に特別委員会をつくって、調査研究をしていくというふうに申し上げたわけですね。ただ、取りあえず半年の間で、そういった部分を十分ですね、勉強するなり、実際にいろんな事例を見るなり、そういったことをできればいいかなというふうに考えていますので、そういう6か月というふうに考えています。

田 代 委 員 唐澤議員の御質問に、まず回答させていただきます。議員も御存じのように、これ、見られてますよね。広域のごみ処理。ここの、これ、概要版なんですけれども、ごみ処理の施設整備計画ということで、令和3年、4年、これでもう基本計画を作る。令和5年には入札して着手する。工事については、建設工事は令和7年から、その前の年の5年、6年は、いろんな発注方法とか、いろんなものに関して、具体的に進めるということで、令和7年ならもう完全に工事が始まっちゃいます。ということは、整備計画の策定が令和4年度までですから、4年の末には概算工事費出ますよね。すごい額になると思う。それが1点です。

それともう1点は、公共施設の管理計画。これについては個別計画をやるって言ってるんだから、今年度出ます。小田原消防の関係の分署、これは担当課から幾らぐらいかかるのよって、大体の概算出ますよ。これらについて、遅くても3年…2年後か。4年度の末だから、今、3年だから、そうだ、2年だね。2年したときには、一番後口の上地区のごみ処理施設の整備事業の概要が出ますから、このときに財源もしっかり、工事費が出ますから、財源が分かるはずです。あと、一方で井上議員が言われるように、新松田駅、「えい、やあ」で賛成するんじゃなくて、少しね、皆さん、特別委員会をつくって、本気で議論

すべきだと思います。その辺の結果と足柄上地区のごみ処理のこの計画が出るころ、見えたころ、そのときに私の一番言いたいのは、それをこの財政推計に入れた場合に、13%よりも絶対下がらない。今それを取り除いてやってるから。そのときに、これは下がればいいです。じり貧になっちゃうからやろうよと。財政的にも大丈夫だね、10%でいくのという結論が出れば、私はそれで進めていいと思う。ですから、その時期までは、どういうふうな結論…何%、実質公債比率がどうだ、将来の財政負担がどうだというものが、あと2年ぐらいではっきりするんでね、そのときに私はゴーかバックかストップか、決断をすべきだと思う。したがって、今はすべきでない。以上です。お答えになってなかったら再質問してください。回答します。（「今の関連で」の声あり）

井 上 委 員 先ほど依田課長のほうでは、令和3年度の前半に概算事業費が出ると、回答しましたから。ですので…。

田 代 委 員 令和3年前半ね。はい。じゃあ、もう少し早く出るわ。

委 員 長 ごみ処理についてね。

田 代 委 員 そうそう。そうすれば、そのときでいいよ。何%になるか。もう一回財政にやってもらえばいい。令和3年度前半ね。

委 員 長 しかしながら、大方の御意見、ほとんど出そろったのかな。今考えてみますと、これは削るといった、この債務負担行為1億2,500万に対しては削るといような御意見が多いように思うんですが。

田 代 委 員 委員長、すみません、議事進行について。これはこれでひとつ議員間討議できたのでね、ほかにもあると思うので、それを次々にやっていただいて…のがよろしいのかなと感じます。

委 員 長 これで、このことに対してだけの結論は出さないということ。

田 代 委 員 全部聞いた中で、最後です。

委 員 長 分かりました。それでは、この新松田駅前の北口広場についてのこれの意見具申と申しますか、債務負担行為についての一件は終了とさせていただきます。次に入りたいと思います。次、御意見のある方。